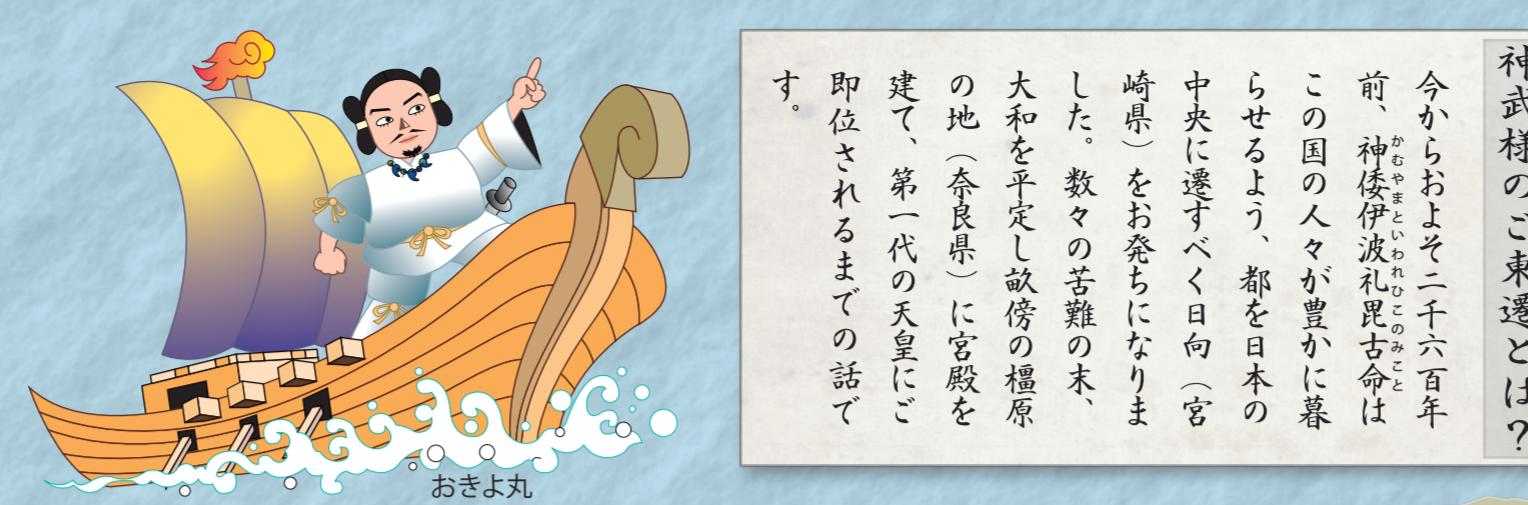


神武様が 行く



宮崎	宮崎神宮	みやざきじんぐう	宮崎市神宮 2丁目 4-1	地元では「神武さま」として親しみを込めて呼ばれる神武天皇をお祀りしている。	③
皇子原神社	おうじばるじんじや	西諸県郡高原町蒲牟田3-251		神武様の御降誕(ごこうたん)された地として顕彰されている。	⑤
四皇子ヶ峯	しおうじかみね	西臼杵郡高千穂町大字三井田1073		神武天皇御孫第四皇子御降誕(ごこうたん)の地と伝わる。	⑥
佐野原	さの原	宮崎市佐土原町上田島9486		神武様が御降誕(ごこうたん)された地と伝わる。	⑦
狹野神社	さのじんじや	西諸県郡高原町大字蒲牟田117		神武様が御降誕(ごこうたん)の地に創建されたと伝わる。霧島の噴火により現在の地に鎮座した。	①
狹野神社(都城)	さのじんじや	都城市都島774		都島は神武天皇宮殿の跡地として顕彰されている。	⑧
金崎神社	かねざきじんじや	宮崎市大字金崎2995		橋の小戸の阿波岐原(あわぎがはら)をお望みになられた地として顕彰されている。	⑨
皇子宮神社	こくじんじんじや	宮崎市北方町横小路		神武天皇宮殿の跡と顕彰されている。	⑩
湯之宮神社	ゆのみやじんじや	湯之宮町大字田原18633-2		湯浴みの地として顕彰されている。	⑪
鵜戸神社	うどじんじや	湯之宮町大字鴨口浦1-1		国土の平定を祈願された所として顕彰されている。	⑫
都農神社	つのじんじや	湯之宮町大字川北13294番地		戦勝祈願をされた地と伝えられる。	⑬
甘濱神社	あまつけいんじや	湯之宮町大字川南1193		武運長久と國家の平定を御祈請されたと伝えられる。	⑭
御鉢神社	みはこじんじや	日向市大字細瀬353		鉢を神めいたされた地と伝えられる。	⑮
大御神社	おおみじんじや	日向市大字知屋1		武運長久と航海安全を御祈願されたと伝えられている。	⑯
湊柱神社	みなとばしらじんじや	日向市大字幸脇5		御進発に際し軍船の修祓(しゆぱつ)を斎行した所と伝えられる。	⑰
立磐神社	たていわじんじや	日向市大字津美3419		お船出の地(美々津)として伝わる。	⑱
鵜戸神宮	うどじんぐう	日向市大字宮原3232		神武様の父、鵜葺草葺不合命(うがやふきあえすのみこと)を祀る。	⑲
青島神社	あおしまじんじや	宮崎市青島2丁目13番1号		神武様の祖父、火達理命(ほむののみこと)を祀る。	⑳
みそぎ池	みそぎいけ	宮崎市阿波岐原町産母		伊邪那岐命(いなぎのみこと)が國の穀れを救うために、みそぎを行った場所と伝えられる。	㉑
江田神社	えだじんじや	宮崎市阿波岐原町産母127		日向の橋の下の阿波岐原として、伊邪那岐命の禊祓(みそぎはらい)の聖蹟と伝承されている。	㉒
小戸神社	おどじんじや	宮崎市鶴島3-93		太古伊弉諾大神が禊祓(みそぎはらい)をされた「禊いの神事」由縁の神社である。	㉓



神武様のご東遷とは?
今からおよそ二千六百年
前、神倭伊波礼鬼古命は
この國の人々が豊かに暮らせるよう、都を日本の中央に遷すべく日向(宮
崎県)をお巻ちになりま
した。数々の苦難の末、
大和を平定し敵傍の樺原
の地(奈良県)に宮殿を
建て、第一代の天皇に即位されるまでの話です。



神武様ご東遷ゆかりの地②

大分	大入島 神の井	おおにゅうじまみのい	佐伯市大字日向泊	停泊した日向泊(ひゅうがどり)に神武様が折弓を突きたて泡きだした「神の井」がある。	㉔
	柏鼻神社	かじばなじんじや	宇佐市大字和氣1056	椎根津彦命(さおねつひこ)に先導された神武様一行は柏鼻(かじばな)の地に上陸されたといわれている。	㉕
	宇佐神宮	うさじんぐう	宇佐市大字南宇佐2859	お船出した一行が最初に立ち寄り宇佐津比古(うさづひこ)・宇佐津比売(うさづひめ)に歛待された。	㉖
	妻垣神社	つまがきじんじや	宇佐市安心中院妻垣203	神武様が立ち寄ったと云う伝承がある。	㉗
福岡	岡田宮	おかだぐう	北九州八幡西区岡田町1-1	古事記によるこの地を訪れ一年間滞在したとする。	㉘
広島	多家神社	たけじんじや	安芸郡府中町宮ノ町3丁目	阿岐国(あきのくに)の多箭理宮(たきののみや)に神武様が七年いますと古事記に記されている。	㉙
岡山	高嶋神社	たかしまじんじや	岡山市富浦	高嶋の地に行宮(みやみや)を造って八年間滞在したとされる。	㉚
大阪	生國魂神社	なぐにまほじんじや	大阪市天王寺区生玉町13-9	神武天皇が難波之浦(なはのみさき)の先端に列島の御御塗を祀り、國家安泰を祈願したことが始まる。	㉛
	白津律	しらかつ	大阪市大字日下6丁目	大阪入りを前に大矢湊から上陸した場所。	㉜
	水門吹上神社	みなくちあげじんじや	和歌山市小野町1-1	傷ついた神武様の兄・五瀬命が雄叫びして崩御された男之水門(おのみなと)と伝わる。	㉝
	竈山神社	かまやまじんじや	和歌山市和田438	本殿の裏に神武様の兄・五瀬命の御陵がある。	㉞
和歌山	熊野那智大社	くまのなちたいしゃ	東牟婁郡那智勝浦町那智山	熊野灘から上陸する際に、光り輝くこの那智の滝を見て神として祀ったと伝わる。	㉟
	熊野速玉大社	くまのはやまたまいしゃ	新宮市新宮1	「ゴビキ岩」を祀った神武神社を本宮とし、現在地に遷したところが新宮といわれる。	㉟
	神倉神社	かみくらじんじや	布都御魂之劍(ふつみときのつるぎ)	布都御魂之劍(ふつみときのつるぎ)で神武様一行を救った高倉下(たかくらじ)を祀っている。	㉟
	熊野本宮大社	くまのはんくうたいしゃ	田辺市本宮町本宮	二千年の歴史を持ち熊野社總本宮として盛隆を遂げた。	㉟
奈良	八咫烏神社	やつめじゆうじんじや	熊野山中で一行を道案内し、貢献した八咫烏(やつめじゆう)の化身と伝わる建角身命(たけつぬみのみこと)を祀る。	㉟	
	櫻原神宮	さくらはらじんぐう	櫻原市久米町934	櫻原神宮に北接する神武神社を本宮とし、現在地に遷したところが新宮といわれる。	㉟
	神武天皇陵	じんむてんのうりょう	櫻原市久保原町	櫻原神宮に北接する神武神社を本宮とし、現在地に遷したところが新宮といわれる。	㉟
	石上神宮	いそのかみじんぐう	天理市布留町384	神武様一行を熊野で救った布都御魂大神(ふつみのたまのおほかみ)を御祭神として祀る神社。	㉟
三重	伊勢神宮	いせじんぐう	伊勢市宇治館町1	皇大神宮(内宮)と豊受大神宮(外宮)及び別宮など125社に及ぶ神社の總称。	㉟

- ご東遷はじまりの地「みやざき」
- 二 みやざきに残るご東遷の足跡
- 三 九州を北へ 濑戸内海を東へ
- 四 太陽を背に戦う道のりへ
- 五 高倉下、八咫烏の導き
- 六 建国地 樺原へ

詳細は表面を御覧下さい。